

地域連携だより

第 12 号

平成 28 年 6 月 27 日
出雲市姫原 4 丁目 1 番地 1
島根県立中央病院
入退院支援・地域医療連携センター
TEL 0853-30-6500
FAX 0853-30-6508

麻酔科診療の紹介

麻酔科部長 越崎 雅行



麻酔科診療は、近年特に著しく進歩してきた分野の一つであり、手術時の麻酔ならびに周術期管理、慢性の痛みや急激な痛みに対する痛み治療、あるいは重症患者に対する集中治療など多岐に及んでいます。島根県が最先端を走る(?)長寿社会となった我が国では、手術を受ける年齢層も高齢の方が多くなってきました。当科では“より安全で”“より安心な”そして“より質の高い”医療を提供できるよう、関連診療科や部門との緊密な連携の下に対応しています。

麻酔科は手術・外傷・感染・痛みなどの生体に加わる様々なストレスから患者さんを守ることを専門とした診療科です。具体的には、患者さんが安全に手術を受けられるように手術中の麻酔や全身管理をしたり、一般集中治療室 (General Intensive Care Unit) で重症患者さんの治療にあたりたりしています。島根県ドクターヘリも導入後すでに5年となりましたが、多くの予定手術を計画する中で、救急搬送された重症患者の救命を最優先しヘリ搬送後速やかに手術となる症例にも対応しています。

小さなお子さんから高齢者までの幅広い年齢層の患者さんのあらゆる疾患の手術に対して、当院麻酔科では年間約 2700 例の手術麻酔に対応しています。当科では、島根大学麻酔科や鳥取大学麻酔科において多様な診療領域で研鑽してきた経験豊かで専門性の高い麻酔科医が麻酔管理をおこなっています。

ところで、救急救命士をご存知でしょうか。心肺機能停止状態の傷病者の救命率を上げるために、1991 年に導入された資格です。ある種の医療行為を行う事を許可されましたが、気管挿管に関しては、規定の講習と共に、病院での気管挿管実習が義務付けられています。当院ではこの挿管実習に対して、麻酔科を中心に病院全体で取り組んでいます。全身麻酔を受けられる皆様にも、救える可能性がある命を、一人でも救えるよう、実習へのご協力をお願いします。



麻酔科医全員集合!

精神科リエゾンチームの紹介

リエゾンチーム専任看護師
認知症看護認定看護師 曾田 摂子



今年度 4 月より精神科リエゾンチームが新しく活動を開始しました。“リエゾン”という言葉はフランス語で『連携』や『橋渡し』といった意味があります。健康問題を抱え入院治療を受ける過程においては、もともと精神疾患を抱えている方だけではなく、身体疾患で入院されている方においても今後の生活や病気に対する不安が高じ、不眠や抑うつ状態などの精神症状を呈することがあります。また、高齢者の入院では容易にせん妄を呈し、円滑に身体治療を行うことができない問題も有します。こうした一般病棟において生じる様々な精神症状に対して精神科リエゾンチームでは、多職種による精神科専門医療を提供し、各診療科の医師や看護師等のスタッフと連携することで早期の症状緩和を図ることを目的としています。

このチームは、精神科医師、専任看護師、専任精神保健福祉士、心理療法士によって構成されています。依頼があった患者さんにはチーム構成メンバー複数名で対応します。個々の患者さんの状態に合わせてゆっくり話を聴き必要な介入を検討します。また、該当病棟のスタッフとも、対応を協議して最適な支援が提供できるよう努力しています。チームでは週 1 回のカンファレンスを行い、依頼を受けた患者さんの治療効果の判定やよりよい支援方法を多職種の視点から考えていきます。少しでも入院患者さんの精神的な不安や苦痛を軽減できることを目標に、患者さんの「こころ」と「からだ」の治療を『橋渡し』する活動をしていきたいと思っています。



精神科リエゾンチーム会のカンファレンスの様子

入退院支援・地域医療連携センター新人紹介

入退院支援スタッフ看護師



おかむら ようこ
岡村 陽子

4月に入退院支援・地域医療連携センターに配属になりました。これまでは、病棟勤務をしており、入退院サポートセンターで入院時ケアを受けてから入院される患者さんの看護を行ってききました。今後は私が入退院サポートセンターで入院ケアをする立場となって、この部署の必要性和困難さについて日々ひしひしと感じながら勤務をしているところです。医師・看護師・社会福祉士・医療事務など病院の職員と連携して、患者さんに少しでも安心して入院していただけるように研鑽していきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。



あだち ゆうこ
足立 裕子

4月より入退院サポートセンターに配属となりました。病気で不安を抱える患者さんが、少しでも安心して入院していただけるように、日々関わっていききたいと思ひます。よろしくお願ひします。



かなやま なおみ
金山 直美

4月から入退院サポートセンターに配属になりました。これまで病棟の経験が主でしたので入院患者さんの玄関口であるサポートセンターでの業務は新しい刺激の連続です。



さわだ みよこ
澤田 実代子

4月より入退院サポートセンターに配属された澤田です。入院生活や検査などについて患者・家族の不安を聞き、安心して入院生活を送ることができるよう少しでも支えになればと思ひています。



ししど みほ
穴戸 美穂

4月から入退院支援スタッフとして配属となりました。入院前から患者さんと関わらせていただくことで、患者さんの思いや状況、疾患を確実に把握し医師や病棟スタッフ等と連携を強化していきたいと思ひます。そして、安心・安全で質の高い医療に繋げていけるよう努めていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

在宅医療支援スタッフ 看護師



ひの みなこ
日野 美奈子

4月から地域医療連携センターに配属となりました。患者様、ご家族様ができるだけ安心して、地域へ戻られ生活が継続できるような支援ができるよう頑張ります。よろしくお願ひします。

地域医療連携・医療福祉相談スタッフ 社会福祉士

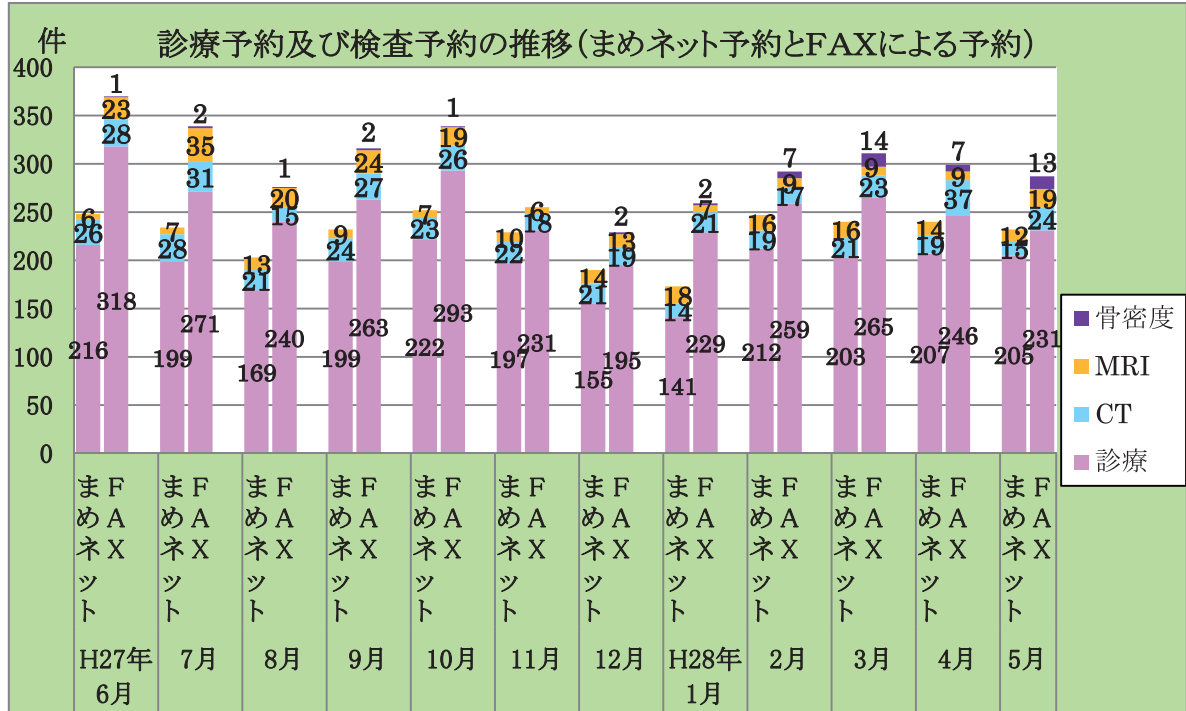


わだ いずみ
和田 和泉

4月から入退院支援・地域医療連携センターで勤務させて頂くことになりました。高齢者福祉関係での仕事の相談援助の経験を活かして患者さんの退院・転院調整をさせていただきます。よろしくお願ひします。

地域医療連携の状況

まめネット・FAX 状況をお知らせいたします（H27年6月～H28年5月）
 「まめネット」をご利用いただくと、診療・検査日時の予約が直接可能で、
 効率の良い医療が提供できますのでご利用をお願いいたします。



日頃より患者さんのご紹介をいただきありがとうございます。
 紹介率・逆紹介率を上げて、地域との連携を深めていきたいと思ひます。
 皆様のご協力をよろしくお願ひします。

